

「左利き」(Left Handness)

(第 一 報)

酒井桃香・江上 一子・木平 勝代

1 緒 言

我々人間の身体の中で最もよく活動する部分として手があるが、左右対象にあるこの手の活動状態は必ずしも左右平等ではない。各個人により右手の活動が左手に比較して強い者、その反対の者、また、まれに左右平等に活動する者など、非常に個人差の強いものである。

現在までに行なわれた諸調査によれば、現在社会では右手を中心とした文化生活が営まれ、右手利きという現象が一般に常識化されて居ることが分かるが、左手利きや、両手利きの者の生活環境適応についての研究の必要性を痛感して、本研究に着手した。

2 研 究 目 的

家庭生活を中心とした手を使う作業指導を行なうにあたり、利き手の実態ははたしてどのような状態であるか、また利き手に対して左利きの者はどのような状態であるかを知り、家庭科作業の実験、実習を通して利き手の適切な指導を期すためにこの基礎調査を行ない、まとめたので第1報として報告する。

3 調 査 方 法

3, 1) 対 象

調査対象としては、福岡市内の中学校2校、

高等学校1校、計3校とした。学年は将来追跡調査の便宜を考え1年次生を選んだ。

中学校(福岡市公立中学校)

F中学校(男女共学)	男子	67名
	女子	79名

H中学校(男女共学)	男子	77名
	女子	87名

計	男子	144名	女子	166名
---	----	------	----	------

合計 310名

高等学校(福岡市内、私立女子高等学校)

N女子高等学校	女子	500名
---------	----	------

総計 810名

3, 2) 方 法

あらかじめ質問項目を記入した用紙を1人2部用意した。質問紙は「質問その1」、「質問その2」と分類した。「質問その1」は、基礎動作においては前述の利き側の研究における、表2の基礎動作の調査項目を採用した。表は省略する。「質問その2」は、今後調理の実験、実習によって研究を進める意図を含んで、高等学校技術検定の調理部門で扱われている作業項目を参考にしながら60項目を設定した。質問の内容は表1の通りである。なお別項として左利きに対する意識調査項目を入れた。

記入方法は、質問事項に対して各人が日常行なっている動作を、正確に○印をもって記入するようにした。

3, 3) 調 査 時 期

この調査は昭和45年6月に行なった。

表1 調 理 時 の き き 手 調 査

日頃皆様が調理をする時、必ず手を使いますが人によってよく使う「きき手」があるはずです。その「きき手」

を調査したいと思いますので下の質問について答えて下さい。答え方は答の欄によく使う方の手を○印で記入願います。又両手共使える人は(3)の欄に記入して下さい。

年 組 番号 氏名

自分では $\left\{ \begin{array}{l} \text{右利き} \\ \text{左利き} \\ \text{どちらでも} \end{array} \right\}$ と思います (不用の方を線で消す)

質 問

1. 計量器を使って材料を計る時どちらの手でのせますか。
2. 米を計る時米はどちらの手でならしますか。
3. 米の水を計る時、計量カップはどちらの手に持ちますか。
4. 米はどちらの手でとぎますか。
5. 計量スプーンで計る時、計量スプーンはどちらの手に持ちますか。
6. 粉をふるう時、ふるいはどちらの手に持ちますか。
7. 缶詰の缶を切る時はどちらの手に缶切りを持ちますか。
8. 油の温度を計る時、温度計はどちらの手に持ちますか。
9. マッチはどちらの手にマッチを持ってすりますか。
10. かつをぶし削りきでかつをぶしを削る時、どちらの手にかつをぶしを持って削りますか。
11. さしみにつける大根はどちらの手に包丁を持ってむきますか。
12. ねぎをきざむ時、どちらの手で包丁を持ちますか。
13. 豚カツをする時、メリケン粉はどちらの手でふりかけますか。
14. パン粉はどちらの手でふりかけますか。
15. 団子を作る時、右手が上ですか、左手が上ですか、上の方に○をつけなさい。
16. 卵白を泡立てる時、どちらの手に泡立器を持ちますか。
17. ごまをする時、すりこ木は右手が上ですか、左手が上ですか、上の方に○をつけなさい。
18. 味噌汁の味噌を溶く時、どちらの手にれんぎを持ちますか。
19. 味噌汁のみにキャベツを入れる時、どちらの手でキャベツをはぎますか。
20. 野菜をゆでる時、箸はどちらの手に持ちますか。
21. 魚をくし焼きする時、くしはどちらの手に持ちますか。
22. フライをする時、どちらの手で材料を油に入れますか。
23. 塩を入れる時、どちらの手で入れますか。
24. 片手鍋の柄はどちらの手に持ちますか。
25. 卵を割る時、卵はどちらの手に持ちますか。
26. 卵切りにゆで卵をのせて切る時、どちらの手でおさえますか。
27. 裏ごしをする時、どちらにしゃもじを持ちますか。
28. 鍋のふたはどちらの手で開けますか。
29. 茶碗蒸をする時、ぎんなんをわる金槌はどちらの手に持ちますか。
30. ぎんなんの皮をむく時、どちらの手でむきますか。
31. 蒸器に茶碗を入れる時、どちらの手で入れますか。
32. 目玉焼きをする時、どちらの手にフライ返しを持ちますか。
33. 卵とじをする時、どちらの手に箸を持ちますか。
34. お茶の葉はどちらの手で入れますか。
35. コーヒーに砂糖を入れる時、スプーンはどちらの手で持ちますか。
36. コーヒーを飲む時、コーヒー茶碗の柄はどちらの手に持ちますか。
37. つまようじを使う時、どちらの手にようじを持ちますか。

答

	(1) 右	(2) 左	(3) どちらでも	(4) したことがない
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				

38. しょう油をかける時、どちらの手でかけますか。
 39. みかんの皮はどちらの手でむきますか。
 40. りんごをむく時、どちらの手に包丁を持ちますか。
 41. 御飯をつぐ時、しゃもじはどちらの手に持ちますか。
 42. パンにバターを塗る時、どちらの手にバターナイフを持ちますか。
 43. パンをちぎる時、どちらの手でちぎりますか。
 44. 小麦粉をこねる時、どちらの手でこねますか。
 45. おしぼりをしぼる時、どちらの手が上になりますか。
 46. お汁をつぐ時、どちらの手で玉杓子を持ちますか。
 47. お膳はどちらの手にふきんを持ってふきますか。
 48. 配膳の時、お茶碗はどちらの手で配りますか。
 49. スープをすう時、スプーンはどちらの手に持ちますか。
 50. 水道の栓はどちらの手でねぢりますか。
 51. ガスはどちらの手で止めますか。
 52. 包丁をとぐ時、どちらの手で柄をにぎりますか。
 53. 鍋を洗う時、たわしはどちらの手に持ちますか。
 54. 茶碗をふく時、ふきんはどちらの手に持ちますか。
 55. 大根をおろす時、どちらの手に大根をもっておろしますか。
 56. ごぼうをさがぎする時、包丁はどちらの手に持ちますか。
 57. ごぼうを千切りする時、包丁はどちらの手に持ちますか。
 58. きゅうりを千切りする時、包丁はどちらの手に持ちますか。
 59. 大根を千切りする時、包丁はどちらの手に持ちますか。
 60. 玉ねぎをみじん切りする時、包丁はどちらの手に持ちますか。

38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				

そ の 他

1. 左手を使って家族の人に注意をうけた事がありますか。 (ある, ない)
 ※ どちらかに○印をつけて下さい。
 2. 注意をうけた事のある人は何才頃ですか。 _____才頃
 3. 注意をした人は誰れですか。 _____
 4. 左利きを恥ずかしいと思った事がありますか。 (思った, 思わない)
 ※ どちらかに○印をつけて下さい。
 5. 左利きの人を見て変に感じますか。 (感じる, 感じない)
 ※ どちらかに○印をつけて下さい。

4 調査結果並びに考察

4, 1) 自己判断による利き手の結果

項目別質問に入る前に、先ず自己判断による利き手の回答を求めたがその結果は、表2の通りである。

3校平均の利き手の割合をみると、右利き83・8%, 左利き6・3%, 右, 左いづれでもない9・9%となり、自己判断による利き手も右手が中心の結果となった。

表2 自己判断による利き手

学 校	利き手	右 利 き	左 利 き	右・左いづれでも	計
F 中 学 校		116名	12名	18名	146名
H 中 学 校		148	7	9	164
N 高等学校		415	32	53	500
計		679	51	80	810

4, 2) 調査校別による「質問その1」, 「質問その2」の結果

表3, 表4は調査校別の利き手の結果を質問事項別にまとめ、百分率で表わしたものである

る。表3、表4を総体的にみると、表3では右利きが中学校平均で約74％、左利き11％、高校では右利き約80％、左利き10％となり、表4では右利きが中学校平均で70％、左利き11％、高校では右利き約85％、左利き約6％となった。この結果より、中学校、高校いずれも右利きが全体の約75％を占めることとなったが、質問を1項目ずつ検討していくと、作業動作によって、左右の差の割合に少ない項目があることに気付いた。この項目を質問表別にまとめると、

表5のような結果となった。これにより考察すると、表3の「質問その1」は、日常生活の作業動作全般にわたる項目が多く、表4「質問その2」は、調理という一部分的な、しかも、高度な技術を要する項目が多く、このような場合は、必然的に自己の一番得意な利き手を使用する結果ではないかと思われる。そして、高度な技術を要せず体全体とする作業動作の場合には、左右を或る程度平均化して使用していることが多いといえるようである。

表3 各学校別基礎動作における利き手使用頻度

学校 質問	F 中 学				H 中 学				N 高 校			
	右 (%)	左 (%)	両手 (%)	したこと がない (%)	右 (%)	左 (%)	両手 (%)	したこと がない (%)	右 (%)	左 (%)	両手 (%)	したこと がない (%)
1	75.3	3.5	21.1	0	79.5	1.8	18.6	0	91.3	3.4	4.8	0.4
2	55.5	13.8	29.1	1.3	69.5	17.3	8.6	4.3	70.3	13.9	15.3	0.2
3	47.1	23.2	29.5	0	55.9	22.9	21.1	0	64.6	20.0	13.3	1.9
4	92.9	4.2	2.8	0	94.4	5.5	0	0	95.3	3.8	0.8	0
5	94.3	3.5	2.1	0	91.9	5.5	2.4	0	95.7	3.4	0.6	0.2
6	92.9	3.5	3.5	0	93.8	4.9	1.2	0	95.1	3.8	1.0	0
7	51.0	27.3	21.5	0	59.0	27.3	13.0	0.6	59.9	29.8	10.1	0
8	80.7	11.4	7.8	0	90.0	8.7	1.2	0	91.5	4.9	3.4	0
9	63.3	9.8	26.7	0	67.0	9.9	22.9	0	62.4	10.5	26.9	0
10	62.5	9.5	27.9	0	82.7	6.1	10.4	0.6	91.9	5.8	2.2	0
11	87.2	4.9	4.9	2.8	89.4	8.0	1.2	1.2	94.1	3.2	2.6	0
12	90.1	6.3	3.5	0	90.7	7.4	1.8	0	97.7	0.6	1.6	0
13	92.9	2.1	4.2	0.7	88.8	3.7	6.8	0.6	90.2	3.2	6.4	0
14	87.5	6.2	6.2	0	86.9	5.5	7.4	0	88.0	4.2	7.7	0
15	74.1	7.6	18.1	0	83.2	7.4	9.3	0	94.1	3.6	2.2	0
16	88.8	5.5	4.1	1.3	91.8	6.2	0.6	1.2	91.2	6.2	2.4	0
17	84.5	7.7	7.7	0	90.0	6.8	3.1	0	93.7	1.4	4.8	0
18	86.3	4.2	9.1	0	89.3	5.6	5.0	0	64.3	2.4	33.1	0
19	57.4	6.3	29.0	7.0	72.6	5.5	18.0	3.7	77.2	2.8	20.0	0
20	62.2	5.5	32.1	0	79.5	4.9	15.5	0	88.0	4.0	7.8	0
21	71.6	12.0	15.6	0.7	87.5	6.8	5.6	0	99.3	0.2	0.4	0
22	94.3	1.4	4.2	0	94.4	2.4	3.1	0	88.4	3.8	7.6	0
23	74.6	9.8	15.4	0	85.6	7.5	6.8	0	97.9	0.6	1.4	0
24	91.6	3.4	4.8	0	92.5	6.8	0.6	0	73.5	9.5	16.8	0
25	67.1	11.1	21.6	0	78.4	11.3	10.1	0	87.9	3.4	8.6	0
26	61.9	7.7	29.5	0.7	75.9	5.6	18.3	0	75.4	9.7	14.5	0.2
27	56.3	19.7	23.2	0.7	73.0	13.4	13.4	0	97.5	0.8	1.6	0
28	92.1	0.7	7.1	0	95.0	3.6	1.2	0	97.5	0.8	1.6	0
29	72.6	5.7	21.5	0	88.9	2.4	8.5	0	70.6	3.7	25.2	0.4
30	56.3	11.9	31.6	0	70.5	7.3	22.0	0	75.3	3.0	21.6	0
31	62.6	9.1	28.1	0	78.6	6.2	15.0	0	92.0	3.8	4.0	0
32	87.2	5.6	7.0	0	87.8	5.4	6.7	0	71.9	19.5	8.4	0
33	57.1	20.7	22.1	0	76.6	16.5	6.7	0	44.7	21.8	3.1	30.2
34	84.6	4.8	3.4	6.9	82.0	6.7	0	11.1	61.8	27.5	10.5	0

35	57.0	21.1	21.8	0	64.1	27.7	8.0	0	93.6	5.1	0.8	0.4
36	76.4	9.2	14.2	0	85.8	11.7	0.6	1.8	76.1	16.6	6.3	0.8
37	72.5	13.3	14.0	0	79.6	11.7	8.6	0	67.7	4.0	28.1	0
38	54.9	4.2	40.1	0.7	69.7	7.4	22.8	0	90.2	2.0	7.1	0.6
39	78.7	7.8	12.7	0.7	90.0	4.9	4.3	0.6	83.5	6.6	9.7	0
40	65.0	4.8	29.3	0.6	70.9	8.6	19.7	0.6	81.2	9.3	9.1	0.2
41	63.3	6.3	27.4	2.8	79.5	13.0	4.9	2.4	58.7	37.8	3.4	0
42	51.0	30.4	17.7	0.7	60.4	32.0	7.4	0	62.7	14.6	22.5	0
43	44.6	15.6	39.0	0.7	60.7	22.0	15.9	1.2	58.6	5.0	36.2	0
44	44.5	9.9	41.8	0.7	57.4	12.3	29.6	0.6	59.8	21.0	19.0	0
45	52.8	22.5	24.6	0	64.1	22.2	12.9	0.6	76.4	3.4	19.6	0.4
46	68.7	9.2	21.9	0	75.3	8.6	16.0	0	65.7	15.8	18.3	0
47	55.6	19.0	21.8	3.5	64.1	21.6	12.9	1.2	65.9	26.8	6.9	0.2
48	52.1	35.9	8.4	3.5	66.0	27.7	3.0	3.0	76.9	20.4	2.6	0
49	53.9	35.4	10.6	0	66.0	29.6	3.7	0	62.4	13.5	23.8	0.2
50	51.0	15.3	32.8	0.6	64.5	9.9	25.4	0	51.7	39.1	9.1	0
51	41.8	43.2	14.8	0	80.5	10.0	7.5	1.8	95.7	3.6	0.6	0
52	90.7	4.2	1.4	3.5	61.6	10.0	1.2	27.0	86.1	8.5	5.2	0
53	66.1	19.7	14.0	0	77.8	5.1	5.6	8.7	78.4	5.1	16.2	0.2
54	59.1	11.9	28.8	0	86.2	7.5	2.5	3.7	91.6	2.2	6.0	0
55	85.8	7.0	7.0	0	78.7	9.3	2.5	9.3	94.7	3.2	1.6	0.4
56	90.8	6.3	2.8	0	60.7	3.7	0.6	34.8	51.8	29.9	16.8	1.4
57	42.6	37.7	18.1	1.3	63.1	3.1	0.6	33.1	59.6	35.2	5.1	0
58	58.1	37.5	4.2	0	78.1	5.0	0.6	16.2	79.6	13.6	6.8	0
59	66.9	19.7	13.3	0	68.7	3.7	1.2	26.2	90.2	3.8	7.3	0
60	90.7	6.3	2.8	0	73.1	3.7	0.6	22.5	90.1	5.3	4.5	0

表4 各学校別家庭科作業における利き手使用頻度 (その2)

学 校 質 問	F 中 学				H 中 学				N 高 校			
	右 (%)	左 (%)	両 手 (%)	したこと がない (%)	右 (%)	左 (%)	両 手 (%)	したこと がない (%)	右 (%)	左 (%)	両 手 (%)	したこと がない (%)
1	72.0	9.0	13.9	4.8	76.2	8.5	10.4	6.1	76.2	6.4	16.6	0.6
2	70.8	11.1	11.1	6.9	70.5	9.8	6.1	13.4	80.5	11.9	6.8	0.6
3	58.8	19.1	18.4	3.5	68.7	12.8	4.2	14.1	78.6	13.4	7.2	0.6
4	74.3	6.9	11.8	6.9	74.2	4.2	9.2	12.2	91.1	3.0	5.3	0.4
5	71.5	17.3	6.9	4.1	76.0	9.8	2.4	11.6	81.8	12.8	4.4	0.8
6	43.7	11.1	17.3	27.7	53.3	7.3	7.3	31.9	66.8	14.0	13.6	5.3
7	88.1	6.2	4.1	1.3	88.9	7.3	1.8	1.8	94.5	4.3	1.0	0
8	57.7	6.3	13.3	22.5	51.8	6.7	6.1	35.1	70.1	9.8	7.6	12.3
9	89.5	4.1	4.8	1.3	91.3	6.1	1.2	1.2	94.7	2.9	2.3	0
10	73.1	5.5	7.5	13.7	54.3	12.3	1.2	32.0	81.3	5.1	2.9	10.5
11	—	—	—	—	50.9	7.4	0	40.3	89.4	3.5	0.2	6.8
12	75.6	2.7	1.3	20.1	81.0	6.2	0.6	12.1	96.8	2.8	0	0.2
13	40.9	6.2	15.2	37.5	53.2	6.3	7.0	34.1	76.7	6.3	12.8	4.0
14	47.2	6.9	13.8	31.9	58.0	8.2	8.0	26.0	77.1	5.9	14.3	2.5
15	50.3	13.7	10.3	25.5	65.1	7.2	3.0	25.7	83.0	5.9	6.9	4.0
16	69.2	5.5	4.1	20.9	68.3	10.2	3.8	19.2	85.3	12.1	1.6	0.8
17	60.6	11.0	10.3	17.9	73.2	6.2	4.3	16.1	76.7	15.0	5.5	2.6
18	77.2	5.5	2.0	15.1	76.3	3.1	1.8	18.6	93.4	2.7	2.0	1.7
19	58.6	8.9	12.4	20.0	65.8	4.9	5.5	23.6	79.3	5.3	14.6	0.6

20	76.4	2.8	3.5	17.1	74.5	3.7	1.2	20.4	95.3	1.2	2.7	0.6
21	52.7	6.9	9.0	31.2	49.3	11.2	5.0	34.3	79.5	8.6	6.6	5.1
22	55.8	7.5	8.9	27.5	65.2	6.8	5.5	22.3	77.4	8.2	12.2	2.0
23	72.6	7.5	17.1	2.7	81.3	6.8	7.4	4.3	79.9	4.9	15.0	0
24	60.2	13.4	19.8	6.3	69.3	10.0	6.8	13.7	96.8	4.2	0	0
25	74.3	8.3	14.5	2.7	77.6	14.9	4.9	2.4	87.6	6.1	6.1	0
26	57.3	18.1	13.9	10.4	68.3	18.6	1.8	11.1	69.8	19.2	8.0	2.8
27	58.0	4.8	2.7	34.2	71.4	5.5	0.6	22.3	91.1	3.3	1.4	4.0
28	57.6	13.8	22.9	5.5	75.0	10.0	12.5	2.5	65.8	11.2	22.7	0.2
29	51.3	4.8	2.7	40.9	55.3	4.4	2.5	37.7	88.8	3.6	0.8	6.6
30	47.5	4.1	8.3	39.8	53.1	5.0	4.3	37.5	78.0	4.6	10.5	6.7
31	54.5	4.1	9.0	32.1	68.3	3.8	5.8	21.9	76.5	2.9	20.2	0.2
32	76.9	10.4	3.4	9.0	77.2	18.3	1.8	2.5	84.0	13.2	2.7	0
33	73.4	2.7	2.0	21.6	84.1	5.0	0	10.7	96.3	1.2	1.0	1.2
34	67.8	9.2	14.2	8.5	78.1	12.5	6.8	2.5	75.7	13.6	10.4	0.2
35	85.1	7.8	5.6	1.4	91.8	4.3	3.1	0.6	90.8	3.0	4.2	1.8
36	58.1	14.1	26.2	1.4	74.3	13.7	11.2	0.6	68.7	11.5	19.5	0.2
37	73.9	7.0	15.4	3.5	88.0	5.6	6.2	0	86.9	3.1	9.7	0.2
38	71.1	9.1	19.0	0.7	83.7	6.2	9.3	0.6	75.6	5.0	19.3	0
39	65.4	9.1	23.2	2.1	83.1	8.1	8.7	0	74.5	5.3	20.0	0
40	86.3	5.0	1.4	7.1	88.7	5.6	1.2	4.3	96.0	2.9	0.8	0.2
41	88.0	4.9	5.6	1.4	90.0	6.8	0	3.1	95.6	3.3	1.0	0
42	88.6	7.0	3.5	0.7	91.8	6.9	1.2	0	92.9	3.3	3.5	0.2
43	67.1	6.9	25.8	0	82.3	6.2	11.3	0	76.4	6.0	17.5	0
44	47.5	3.4	16.0	32.8	55.6	2.5	12.0	29.7	77.6	3.8	13.9	4.5
45	60.5	21.1	15.4	2.8	65.4	27.0	5.0	2.5	64.1	32.7	2.6	0.4
46	85.7	4.2	2.8	7.1	81.6	6.3	1.8	10.1	95.6	2.4	1.4	0.4
47	69.5	7.0	20.5	2.8	83.0	6.2	5.0	5.6	98.2	1.8	0	0
48	64.5	8.5	20.5	6.3	80.3	10.1	3.7	5.6	79.7	5.8	14.3	0
49	88.5	7.1	4.2	0	87.4	5.6	4.4	2.5	96.2	1.2	2.2	0.2
50	77.4	2.8	19.7	0	83.1	5.0	11.8	0	82.4	2.0	15.3	0.2
51	77.6	6.4	15.1	0.7	53.7	38.8	7.4	0	87.3	2.0	9.9	0.6
52	58.8	7.8	9.9	23.4	90.1	6.1	0	3.7	74.8	8.5	6.9	9.6
53	71.4	7.1	7.1	14.2	79.5	11.1	9.3	0	89.7	3.9	6.1	0.2
54	71.2	10.0	12.2	6.4	79.6	5.5	14.8	0	85.9	7.3	6.3	0.4
55	76.2	6.4	10.0	7.1	84.5	11.7	3.7	0	90.8	4.1	4.9	0
56	51.4	3.5	2.1	42.8	91.9	7.4	0.6	0	92.1	2.9	0.2	4.7
57	58.2	3.5	1.4	36.6	60.4	30.8	8.6	0	93.9	3.1	0	2.9
58	76.4	3.5	0.7	19.2	67.9	28.9	2.5	0.6	96.8	2.7	0	0.4
59	65.0	3.5	0.1	30.0	81.4	11.7	4.9	1.8	95.0	2.7	0	2.2
60	63.3	3.5	2.1	30.9	94.3	5.6	0	0	94.9	2.5	2.5	0

図1, 図2は, 「質問その1」, 「質問その2」に対し, 各々60項目について回答されたものを集計し, その中でそれぞれの利き手の占める割合を調査校別, 男女別にグラフに表わしたものである。

この図表により, 中学校では左利きの者が女子に比較して男子に多いことがわかり, また学校の地域により, 家庭環境によっても多少の差が見られることは興味深いものがある。この点

については, 今後細部について調査研究を行なうつもりである。

表5 (その1)

学校 使左手 %	F 中学	H 中学	N 高校
20～29%	③⑦②③③③⑤ ④⑤⑤③⑤⑨	③⑦③⑤④③④⑤ ④⑦④⑧	③③③④③⑤④⑤ ④⑧④⑨
30～39%	④②④⑧④⑨⑤⑦⑤⑧	④②④⑨	⑦④②⑤①⑤⑦⑤⑧
40～	⑤①		

(その2)

学校 左使 手用 %	F 中学	H 中学	N 高校
20～29%	④⑤	④⑤⑤⑧	
30～39%		⑤①⑤⑦	④⑤
40～			

図1

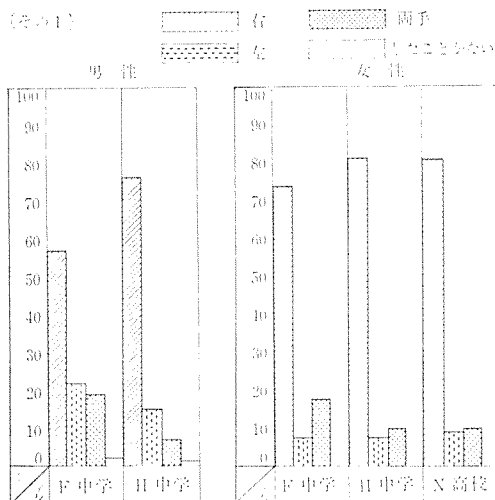
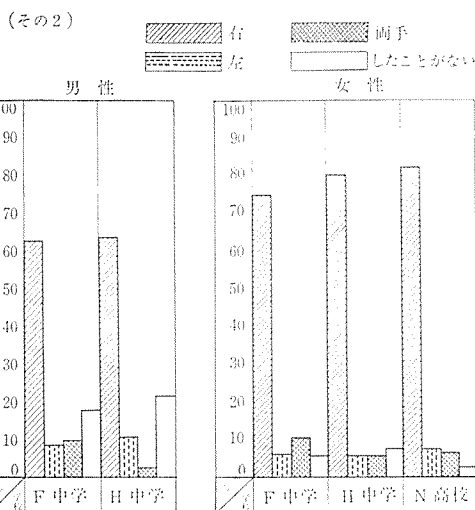


図2



6 要 約

福岡市内の中学校2校、女子高等学校1校、計3校の一年次生男女合わせて810名につき、利き手を自己判断による調査方法によって調査し、利き手の現状についてその実態を調べ、今回は総体的に集計まとめを行なった。

その結果、中学校では右利き74%、高等学校では80%となり、右手中心の生活であることが分かる。しかし、質問「その1」をみると、作業動作によっては左手で行なっている者が多く、その作業は体全体の作業動作であることが分かった。その半面、手先などを使用する細かい作業に関しては圧倒的に右利きが多く、特にこの傾向は男子より女子に多いことが分かった。

また、女子に比較して男子には左利きの者が多い傾向にあり、特にこの傾向は、図1、図2で分かるようにF中学校が高い率を占めているが、この中学校は福岡市の中央部で生徒は選抜されて入学し、かなり徹底した指導が行なわれており、家庭生活も中、上位にあるものが多い学校である。この学校と他校との関係については更に検討を重ねたいと考えている。

男子に比較してみても女子については利き手の比率は中学校、高等学校共にかわりがなく、特に「質問その2」の調理関係分ではほとんど差はなかった。

以上今回の調査により、利き手に対する総体的な傾向を把握することができたので、今後はこのまとめを基準におき、自己判断による利き手と利き手指数による利き手との比較、生活環境との関係、左手利きに対する意識調査、実験、実習を通しての作業動作と利き手の巧緻性などの問題をまとめて発表するつもりである。

(1970.12.12)